

第 3 回理事会

5月12日 午後5時～6時45分

木下会長、吉本・小田副会長、杉山専務理事、濱本・西村・弘山・田中(義)・萬・田中(豊)
各常任理事、武藤・田村・河村・城甲・茶川・山縣・林各理事、山本・武内・藤野各監事

議決事項

1 県医師会費の減免申請について

減免申請 131 件について協議を行い、申請全件を承認、議決した。

協議事項

1 会員の表彰について

第 65 回山口県医師会総会（6 月 12 日、山陽小野田市において開催）における功労者表彰・長寿会員表彰等の被表彰者を確認、了承された。

2 「山口県高校生のための医療現場体験セミナー2011in 岩国」の後援について

主催者である山口大学医学部地域医療推進学講座より依頼があり、名義後援をすることが了承された。

3 東日本大震災にかかる義援金募集への協力依頼について

全国労保連から山口県労保連を経て労働保険事務組合に要請があり、義援金協力について協議、決定した。

4 療養病床転換意向等アンケート調査について

県・市町が策定する第 5 期介護保険事業計画の基礎資料とするため、山口県健康福祉部が県内の療養病床のある医療機関に対して実施予定の「療養病床転換意向等アンケート調査」の内容について協議し、了承した。

5 「ドーピング防止ガイドブック」配付について

山口国体・山口大会におけるドーピング防止対策として、日本薬剤師会・山口県薬剤師会より「ドーピング防止ガイドブック」が無償提供される。この度薬剤師会から本会の希望部数から 500 冊減らしてほしい旨の要請があり対応を検討。協議結果、薬剤師会からの提案部数について了承した。本ガイドブックは pdf ファイルで日本薬剤師会ホームページに掲載される。

6 東日本大震災義援金について

5月10日までに協力いただいた義援金は、86,099,653円。今回の大震災はあまりにも被害が甚大であり、今後も長期的な支援が必要と考えられるが、本会としての義援金募集については、5月末をもって終了することが協議、承認された。

人事事項

1 社会保険診療報酬支払基金審査委員の推薦について

社会保険診療報酬支払基金山口支部より、任期満了に伴う診療担当者代表審査委員の推薦依頼があり、推薦人員20名（科別内訳は従来どおり）を推薦することとした。

2 学校医部会委員の交代について

整形外科医会から選出の現委員の辞退・推薦に伴い、委員の交代を了承。

3 被害者支援センターハートラインやまぐちの役員推薦について

小田副会長を推薦することに決定。

報告事項

1 健康スポーツ医学委員会（4月21日）

実地研修会の日程・講師案について協議した。

（城甲）

2 スポーツ医部会理事会（4月21日）

山口国体における救護訓練講習会の訓練内容について協議した。（城甲）

3 日医地域医療対策委員会（4月22日）

東日本大震災の現状報告及び「在宅医療について」の講演があり、意見交換した。（弘山）

4 山口県精神科病院協会定期総会（4月22日）

出席し挨拶を述べた。（木下）

5 男女共同参画部会第1回理事会（4月23日）

新理事紹介後、各ワーキンググループの活動報告と23年度活動計画が協議された。（田村）

6 中国四国医師会連合連絡会（4月23日・24日）

23日：中国四国ブロック選出の日医役員から中央情勢の報告、日医代議員会提出の質問、日医代議員会議事運営員会報告があった。

24日：日医代議員会議事運営員会報告及び中国四国ブロックの今年度内会議の日程について協議した。（杉山）

7 第124回日本医師会定例代議員会（4月24日）

日医会館大講堂で開催され、代議員354名が出席した。原中会長の挨拶、横倉副会長の会務報告につづいて、議事として、第1号議案 平成22年度日本医師会会費減免申請の件、第2号議案 平成23年度日本医師会事業計画の件、第3号議案 平成23年度日本医師会予算の件、第4号議案 日本医師会会費賦課徴収の件—の4議案について審議を行い、議案どおり可決した。

また、24件（代表8件、個人16件）の質問が出され、本県加藤智栄代議員が「医師の善意がこれ以上廃れないようにするための提言」について、中国四国ブロック代表質問を行った。時間の関係で、個人質問のうち7件については後日書面で回答することとなった。（杉山）

8 第69回日本医師会定例総会（4月24日）

(1)庶務及び会計の概況に関する事項、(2)事業の概況に関する事項、(3)代議員会において議決した主要な決議に関する事項について報告があった。（杉山）

9 社会保険医療担当者の監査（4月26日・27日）

病院1機関について実施され立ち会った。（萬、城甲）

10 山口県肝炎診療協議会（4月27日）

肝疾患専門医療機関の指定、肝炎治療特別促進事業について協議した。（木下）

11 中国地方社会保険医療協議会山口部会

（4月27日）

医科では新規5件(交代2、組織変更3)が承認された。（小田）

12 中国四国地区 医師臨床研修病院合同説明会

（5月1日）

山口県より11病院が参加し岡山コンベンションホールにおいて開催された。日程やブース配置が悪い等の検討項目があった。（田中豊）

13 医学功労賞陶板作製（5月7日）

今年度の県医学会総会被表彰者への副賞(陶板)作製を行った。(木下)

14 第120回山口県医師会生涯研修セミナー

(5月8日)

山口大学医学部園田康平教授の「失明につながる眼の病気について」、順天堂大学綿田裕孝教授の「糖尿病治療 Update」の2題の特別講演と「疼痛に対する薬物療法 - 適正なあり方 - 」をテーマにシンポジウムが行われた。参加者は200名であった。(茶川)

15 山口県介護保険関係団体連絡協議会 役員会・総会（5月10日）

平成22年度事業報告・決算、平成23年度事業計画・予算等について協議、決定した。(事務局長)

16 おいでませ！山口国体・山口大会募金推進委員会第9回幹事会(5月10日)

募金総額が441百万円と目標額の4億円を達成したので、8月末をもって募金活動を終了することが協議された。(事務局長)

17 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会

(5月11日)

保険者との契約の改定、審査委員の任期満了に伴う委解嘱、歯科電子レセプト請求の義務化となる医療機関の取扱い等について報告があった。(木下)

18 広報委員会（5月12日）

会報主要記事掲載予定(5、6、7、8月号)、新コーナー・新シリーズ、緑陰随筆(8月号)、県民公開講座、tys「スパ特」のテーマについて協議した。(田中義)

19 会員の入退会異動

入会27件、退会41件(死亡退会を含む)、異動30件。(5月1日現在会員数：1号1,310名、2号937名、3号391名、合計2,638名)

互助会理事会 第3回

1 会費の免除申請について

3件について協議、承認。

- 2 第1回支部長会(5月26日)の提出議題について
平成22年度事業報告・決算を議題にすることに決定。

医師国保理事会 第2回

- 1 保険料減額免除について
育児支援制度による減額申請1名を含む6名の減額について協議、承認。
また、内規第2条による後期高齢者組合員分保険料免除の249名についても承認。

- 2 平成23年度健康診断の実施について
実施要項等について協議、承認。

母体保護法指定審査委員会

- 1 母体保護法認定研修機関定期報告について
9医療機関の実績報告を審議、認定を可とした。